

様式第1号（第7条関係）

当該価格で入札した理由

◎ 当該価格で入札した理由を、労務費、手持工事の状況、当該工事現場と事務所・倉庫との関係、手持資材の状況、手持機械の状況、下請け会社等の協力等からの面から記載する。

本工事については、隣接工事を以前施工したことがある。また、会社から1 kmと離れていない現場である。

上記により、現場状況をよく把握しており、また、1 km内に施工中の工事があるため、資材・機械の運搬等について経費の縮減が図れ、諸経費の低減を図ることができる。

工事についても、土工・配管工の一部については、下請けを予定しているが、見積もりを徴収した結果であり、下請け予定会社の見積もり金額をそのまま採用しており、土工・配管工の一部については、自社の社員が施工し、使用する機材についても自社保有の機械を使用するほか、資材についても一部の資材は自社で保有しているため、レンタルより低価格での施工が可能である

安全費についても、ガードマン等を設計図書どおりに配置する予定であるため、安全に関する経費についても十分に積算している。

様式第2号（第7条関係）

積 算 内 訳 書

工 事 名				
工事区分・工種・種別	単 位	数 量	金 額	備 考
直接工事費	—	式	〇〇〇円	詳細は別紙積算書のとおり
共通仮設費	—	式	△△△円	〃
共通仮設費			▲▲▲円	〃
純工事費			□□□円	
現場管理費	—	式	■ ■ ■ 円	〃
工事原価			◎◎◎円	
一般管理費等	—	式	● ● ● 円	〃
工事価格			☆☆☆円	

- ※1 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付すること。
- ※2 数量総括表に対応する内訳書とすること。
- ※3 本様式は、土木、建築、設備工事等の標準積算基準書等を参照に調査に適した形式に変更してよい。

様式第2-1号（第7条関係）

内 訳 書 に 対 す る 明 細 書

工事区分・種別・細目	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
		詳細は別紙積算書のとおり				

- ※1 本様式は、様式2に対する明細を記入すること。さらに、その明細が必要な場合は、本様式を使用してその明細が明確になるようにすること。
- ※2 見積りを徴した場合、すべてのものについて見積書を添付すること。
- ※3 本様式は、土木、建築、設備工事等の標準積算基準書等を参照に調査に適した形式に変更してよい。

様式第3号（第7条関係）

手持ち工事の状況（対象工事現場付近）

工 事 名	発 注 者	工 期	金 額	備 考
▲▲工事	〇〇県	△〇.〇.〇～ △〇.〇.〇	〇〇円	施工中

※ 対象工事現場付近（半径 10 km程度）での手持工事の件名を記入し、その工事現場が確認できる図面（対象工事の位置も記入）を添付すること。図面の縮尺は自由とする。

手持ち工事の状況（対象工事現場付近）による縮減経費の算出調書

工 種 (経 費 名)	単 位	数 量	単 価 (円)			縮減可能額 (円)
			標 準	自 社	差 額	
運搬費	回	20	1,000	800	200	4,000

※ 共通仮設費については、準備費、運搬費、安全費等の詳細項目まで記入すること。

様式第3-1号（第7条関係）

手持ち工事の状況（対象工事関連）

工 事 名 (工 事 地 先 名)	発 注 者	工 期	金 額	備 考
▲▲工事	〇〇県	△〇.〇.〇~ △〇.〇.〇	〇〇円	
△△工事	民間	△〇.〇.〇~ △〇.〇.〇	〇〇円	

※ 対象工事の同種又は同類の手持工事名を記入すること。

手持ち工事の状況（対象工事関連）による縮減経費の算出調書

工 種 (経 費 名)	単 位	数 量	単 価 (円)			縮減可能額 (円)
			標 準	自 社	差 額	
運搬費	回	20	1,000	800	200	4,000

※ 共通仮設費については、準備費、運搬費、安全費等の詳細項目まで記入すること。

様式第4号（第7条関係）

契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関連

◎ 分かりやすい地図で契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関連が明確になるように記入する。  
また、所在地も明らかにする。（縮尺は自由とする。）

別紙のとおり

契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関連による縮減経費の算出調書

工 種 (経 費 名)	単 位	数 量	単 価 (円)			縮減可能額 (円)
			標 準	自 社	差 額	
運搬費	回	20	1,000	800	200	4,000

※ 共通仮設費については、準備費、運搬費、安全費等の詳細項目まで記入すること。

様式第5号（第7条関係）

手 持 ち 資 材 の 状 況

品 名	規格・型式	単位	手持ち数量	本工事で使用する予定量	不足数量の手当方法	備 考
矢板		枚	30	45	購入	
パレット		基	200	150		

手持ち資材の状況による縮減経費の算出調書

工 種 (資 材 名)	単 位	数 量	単 価 (円)			縮減可能額 (円)
			標 準	自 社	差 額	
矢板	枚	30	10,000	1,000	9,000	270,000
パレット	基	200	5,000	500	4,500	900,000









様式第8-1号（第7条関係）

工種別労働者配置計画

工種	種別	配置予定人数（人）						備考
		世話役	普通作業員	配管工	電工	運転手	計	
土工	掘削工・埋戻工 ・残土処理	10	65			5	80	自社施工
土工	掘削工 残土処理	20	170			10	200	下請施工
配管工	配管設置工	10		40			50	自社施工
配管工	配管設置工	12		108			120	下請施工

※1 自社施工分と下請施工分とを区分して記入すること。  
 ※2 本様式の配置予定労働者人数と様式8の労働者人数は整合がとれていなければならない。

様式第9号（第7条関係）

過去に施工した公共工事名及び発注者

発注年度	発注者	工 事 名	工 期	請負金額 (円)	評点	備考
○	仙台市	○○道路改良工事その2	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		施工中
○	○○県	△△道路築造工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		80
○	民間	□□会社社屋建設工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		
○	仙台市	○○道路改良工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		85
○	口建設	△△道路改良工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		下請
○	民間	■■建設工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		
○	仙台市	◎◎地区下水道工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		83
○	○○県	△△道路築造工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		77
○	民間	☆☆建築工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		
○	仙台市	●●地区下水道工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		78
○	口建設	▲▲建築工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		下請
○	民間	△△建築工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		
○	仙台市	××道路築造工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		90
○	○○県	△△防災工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		80
○	民間	★★建設工事	△○.○.○~ △○.○.○	○○○円		

※1 過去5ヶ年程度の実績を記入すること。

※2 過去に施工した工事で低入札案件については、備考欄に◎印を記入すること。



様式第11号（第7条関係）

第 1 次 下 請 負 契 約 予 定 者 名 簿

下請業者名	下請内容(工種・数量等)	予定金額(円)
〇〇建設	土木 一式	〇〇〇円
△△工務店	配管工 一式	△△△円

※ 元請業者の注文書及び下請業者の見積書の写しを添付すること。